

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4656708号  
(P4656708)

(45) 発行日 平成23年3月23日(2011.3.23)

(24) 登録日 平成23年1月7日(2011.1.7)

(51) Int. Cl. F 1  
**A 4 7 F 5/00 (2006.01)** A 4 7 F 5/00 E  
**G 0 9 F 7/22 (2006.01)** G 0 9 F 7/22 A

請求項の数 3 (全 7 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2000-285039 (P2000-285039)                  (22) 出願日 平成12年9月20日 (2000. 9. 20)                  (65) 公開番号 特開2002-85214 (P2002-85214A)                  (43) 公開日 平成14年3月26日 (2002. 3. 26)                  審査請求日 平成19年9月19日 (2007. 9. 19)</p>	<p>(73) 特許権者 394016874                  河淳株式会社                  東京都中央区日本橋浜町3丁目15番1号                  (74) 代理人 100098682                  弁理士 赤塚 賢次                  (74) 代理人 100071663                  弁理士 福田 保夫                  (72) 発明者 谷 昌樹                  東京都中央区日本橋浜町2丁目30番1号                  河淳株式会社内                  審査官 植前 津子</p>
--	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 陳列商品の情報表示具及びその使用方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

陳列商品の情報を表示したボードを保持するグリップ部と、前記グリップ部を縦方向に回転可能、横方向に回転不能に支持すると共に、商品陳列棚などに着脱自在に取付可能な取付部と、を有し、前記グリップ部は、二つの挟持片からなるグリップ本体部と、前記挟持片の一方に連接される中空穴を備える円板状支持部材とからなり、前記取付部は、前記円板状支持部材の両側から挟持し、前記中空穴に嵌合する突状部を有する二つの挟持片を備えることを特徴とする陳列商品の情報表示具。

【請求項2】

前記円板状支持部材の下端外周部に複数の歯状突起を設け、前記取付部に固定される係止部にひとつの歯状突起を設け、前記円板状支持部材の歯状突起の歯と前記取付部の歯状突起の歯との噛み合いにより前記グリップ部の位置決めを行うことを特徴とする請求項1記載の陳列商品の情報表示具。

【請求項3】

請求項1又は2記載の陳列商品の情報表示具を複数段の商品陳列棚の前方端に形成される商品表示カード保持レールに2以上設置し、当該2以上の情報表示具で陳列商品の情報を表示したボードを垂直又は傾斜状態で保持することを特徴とする陳列商品の情報表示具の使用方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

**【発明の属する技術分野】**

本発明は、主にスーパーマーケット、コンビニエンスストア及びドラッグストア等の商品陳列棚に使用される陳列商品の情報表示具及びその使用方法に関するものである。

**【0002】****【従来の技術】**

スーパーマーケット等の商品陳列棚周りには陳列商品に関する種々の情報を客に提供するために陳列商品の情報表示具が設置されている。例えば、複数段の棚を有する商品陳列棚の縦（鉛直）方向あるいは僅かに傾斜した縦方向に、陳列商品の情報を比較的大きく表示したボードを掲示する方法は客の目に留まり易く有効な方法である。

**【0003】**

この種のボードを掲示する方法としては、商品陳列棚の前方端に形成される商品表示カード保持レール（POSレール）にグリップ状の表示具を各々取付け、ボードの複数箇所を側面から挟持して設置する方法がある。このグリップ状の表示具は、例えば、ボード挟持部とPOSレール取付け部とが一体化した固定式のものや、客が陳列商品を取り出す際、接触しても元に復元するようにボード挟持部とPOSレール取付け部の接合部に可撓性の部材を設けたものなどがある。これらのグリップ状表示具は、複数段の陳列棚が上下方向に傾斜が無く、且つボードの掲示が鉛直方向である場合には有効な表示具である。

**【0004】****【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、スーパーマーケット等に設置されている複数段の商品陳列棚は、人間工学的に上方の棚ほど急傾斜で、更に、奥行きが狭いものが多い。この場合、演出効果を高めるため、商品陳列棚の上下の傾斜に沿って表示のボードを傾斜させることがある。このような場合、従来のグリップ状表示具では、長さの違う種々の表示具を取り揃える必要があり、在庫管理が煩雑であった。更に、紙状物と異なり、少々厚でのボードを傾斜させて支持する場合、グリップ部が浅くならざるを得ず、客が陳列商品を取り出す際、僅かな接触で脱落してしまうという問題もあった。

**【0005】**

従って、本発明の目的は、商品陳列棚の近傍に、該商品陳列棚の複数段に渡って、表示ボードを縦方向に安定して傾斜設置することができる陳列商品の情報表示具及びその使用方法を提供することにある。

**【0006】****【課題を解決するための手段】**

かかる実情において、本発明者は鋭意検討を行った結果、陳列商品の情報を表示したボードを保持するグリップ部を縦方向に回動可能、横方向に回動不能に支持すると共に、商品陳列棚などに着脱自在に取付可能な表示具とすれば、少々厚でのボードを傾斜させて支持しても、グリップ部が浅くならず、従って客が陳列商品を取り出す際、接触しても脱落することがなく、表示ボードを縦方向に安定して傾斜設置することができることなどを見出し、本発明を完成するに至った。

**【0007】**

すなわち、本発明は、陳列商品の情報を表示したボードを保持するグリップ部と、前記グリップ部を縦方向に回動可能、横方向に回動不能に支持すると共に、商品陳列棚などに着脱自在に取付可能な取付部と、を有し、前記グリップ部は、二つの挟持片からなるグリップ本体部と、前記挟持片の一方に接続される中空穴を備える円板状支持部材とからなり、前記取付部は、前記円板状支持部材の両側から挟持し、前記中空穴に嵌合する突状部を有する二つの挟持片を備える陳列商品の情報表示具を提供するものである。また、本発明は、前記円板状支持部材の下端外周部に複数の歯状突起を設け、前記取付部に固定される係止部にひとつの歯状突起を設け、前記円板状支持部材の歯状突起の歯と前記取付部の歯状突起の歯との噛み合いにより前記グリップ部の位置決めを行う陳列商品の情報表示具を提供するものである。また、本発明は、前記陳列商品の情報表示具を複数段の商品陳列棚の前方端に形成される商品表示カード保持レールに2以上設置し、当該2以上の情報表示

10

20

30

40

50

具で陳列商品の情報を表示したボードを垂直又は傾斜状態で保持する陳列商品の情報表示具の使用方法を提供するものである。

【 0 0 0 8 】

本発明によれば、少々厚でのボードを傾斜させて支持する場合でも、ボードの傾斜に係わらず、グリップ部をボードに直角に挟持でき、グリップが浅くならない。更に、横方向には回動不能で位置が固定されるから、例えば、客が陳列商品を取り出す際の僅かな接触などで複数個の表示具のうち、一個の表示具の向きが変わることによる表示ボードのねじりや変形などを防止でき、表示ボードを縦方向に安定して傾斜設置することができる。また、グリップ部と取付部の二つの部品の組合せで製作できるため、構造が簡単で且つ安価である。また、歯と歯の噛み合いによりグリップ部の位置が固定されるから、より安定な表示が可能となる。

10

【 0 0 0 9 】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態における陳列商品の情報表示具を図 1 ~ 図 6 を参照して説明する。図 1 は本実施の形態例の陳列商品の情報表示具の斜め正面から見た斜視図、図 2 は図 1 の情報表示具の斜め後方から見た斜視図、図 3 は一部を断面で示す正面図、図 4 は図 3 の X - X 線に沿って見た図、図 5 ( A ) は図 3 の記号 Y で示す円内の拡大図、図 5 ( B ) は歯が歯を乗り越える際、固定係止部の撓み状況を説明する図、図 6 ( A )、( B ) 及び ( C ) は 2 つの表示具で陳列商品の情報を表示したボードを垂直又は傾斜状態で保持する使用状態を説明する図である。陳列商品の情報表示具 1 0 は、陳列商品の情報を表示した

20

【 0 0 1 0 】

グリップ部 1 は、板バネ 1 3 のバネ付勢力に抗してグリップ口を開ける把手部 1 1 a を有する一つの挟持片 1 1 と、他方の挟持片 1 2 からなるグリップ本体部 1 a と、一方の挟持片 1 2 に接続される中空穴 3 2 を備える樹脂製の円板状支持部材 3 とからなる。円板状支持部材 3 の下端外周部には複数の歯状突起 3 1 が形成され、歯状突起 3 1 は後述する固定係止部 4 のひとつの歯状突起 4 1 と噛み合うようになっている。

【 0 0 1 1 】

取付部 2 は、円板状支持部材 3 を両側から挟持し、中空穴 3 2 に嵌合する突状部 2 8 を有する一对の樹脂製の挟持片 2 a と、商品陳列棚の前方端の P O S レールに着脱自在に取付可能な取付部本体 2 b とを備える。また、一对の挟持片 2 a の底部には一部を穴空き 2 6 とした基板 2 9 の上に固定される固定係止部 4 を有し、該固定係止部 4 の中央にはひとつの歯状突起 4 1 が形成され、歯状突起 4 1 はグリップ部の円板状支持部材 3 の複数の歯状突起 3 1 と噛み合うようになっている。

30

【 0 0 1 2 】

取付部 2 は商品陳列棚、商品仕切り板などに着脱自在に取付可能なものであれば、特に制限されず、本実施の形態例では、商品陳列棚の前方端の P O S レールに装着されるもので、垂直基板 2 9 と、上下係止片 2 3 で形成される略コ字状のものである。下方係止片中央には丸穴 2 3 b と、丸穴 2 3 b の周りに一对のナット保持枠 2 5 が形成され、把手 2 2 を有するネジ棒を丸穴 2 3 b から差し込み上端を上係止片 2 3 に当接せしめてナット 2 4 を閉めれば、P O S レールの上下端の係止部に上下係止片の両端係止部 2 3 a が係止するようになっている。

40

【 0 0 1 3 】

本実施の形態例の陳列商品の表示具 1 0 は、上記構成を採ることから、取付部 2 を商品陳列棚の前方端の P O S レールに装着した場合、グリップ部 1 は縦方向に回動可能であり、横方向には回動不能である。すなわち、陳列商品の表示具 1 0 はグリップ部 1 の円板状支持部材 3 を取付部 2 の一对の挟持片 2 a で形成される隙間に嵌め込むことで形成され、グリップ部 1 を縦方向 ( 上下方向 ) に動かすと、円板状支持部材 3 の中空穴 3 2 に嵌合する

50

突状部 2 8 が軸となり、適当な摩擦力を保持して円滑に回転する。この際、図 5 に示すように、円板状支持部材 3 の複数の歯状突起 3 1 と固定係止部 4 のひとつの歯状突起 4 1 が噛み合い状態となり、グリップ部 1 の位置決めが容易に行える（図 5（A））。また、グリップ部 1 の位置を変えるため、グリップ部 1 を回転させると、円板状支持部材 3 の複数の歯状突起 3 1 が固定係止部 4 のひとつの歯状突起 4 1 を乗り越える際、固定係止部 4 の中央部 4 2 が基板 2 9 の穴 2 6 に押し込まれて撓むため、回転が円滑に行われると共に、歯状突起 3 1 が歯状突起 4 1 を乗り越えた後は、撓んだ固定係止部 4 の復元により再び歯の噛み合い状態が実現できる。

#### 【0014】

図 6 は、陳列商品の表示具 1 0 を複数段 4 a、4 b、4 c の商品陳列棚 7 のうち、4 a 及び 4 c 棚の前方端に形成される POS レール 5 に設置し、該 2 個の表示具 1 0、1 0 で陳列商品の情報を表示したボード A を垂直（図 6（C））、又は傾斜状態で保持する状態を示す（図 6（A）及び（B））。このような、ボード A を商品陳列棚 7 の縦方向の複数段に渡る垂直又は傾斜する設置形態であっても、陳列商品の表示具 1 0 のグリップ部 1 はボードを深く且つ安定して把持するように回転できるため、陳列商品の情報を大きく表示した数 mm ~ 1 0 cm の厚みのあるボード A であっても安定した表示が可能となる。

#### 【0015】

##### 【発明の効果】

本発明によれば、少々厚でのボードを傾斜させて支持する場合でも、ボードの傾斜に係わらず、グリップ部をボードに直角に挟持でき、グリップが浅くならない。更に、横方向には回転不能で位置が固定されるから、例えば、客が陳列商品を取り出す際の僅かな接触などで複数個の表示具のうち、一個の表示具の向きが変わることによる表示ボードのねじりや変形などを防止でき、表示ボードを縦方向に安定して傾斜設置することができる。また、グリップ部と取付部の二つの部品の組合せで製作できるため、構造が簡単で且つ安価である。また、歯と歯の噛み合いによりグリップ部の位置が固定されるから、より安定な表示が可能となる。

##### 【図面の簡単な説明】

【図 1】本実施の形態例の陳列商品の情報表示具の斜め正面から見た斜視図である。

【図 2】図 1 の情報表示具の斜め後方から見た斜視図である。

【図 3】一部を断面で示す正面図である。

【図 4】図 3 の X - X 線に沿って見た図である。

【図 5】（A）は図 3 の記号 Y で示す円内の拡大図、（B）は歯が歯を乗り越える際、固定係止部の撓み状況を説明する図である。

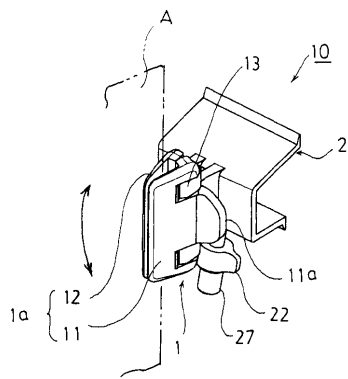
【図 6】2 つの表示具を表示したボードを垂直又は傾斜状態で保持する使用状態を説明する図である。

##### 【符号の説明】

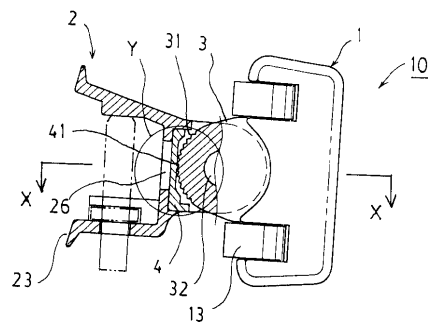
- |         |         |    |
|---------|---------|----|
| 1       | グリップ部   |    |
| 1 a     | グリップ本体部 |    |
| 2       | 取付部     |    |
| 2 a     | 一对の挟持片  | 40 |
| 2 b     | 取付部本体   |    |
| 3       | 円板状支持部材 |    |
| 4       | 固定係止部   |    |
| 5       | POS レール |    |
| 6       | 商品転落防止板 |    |
| 7       | 商品陳列棚   |    |
| 1 1、1 2 | 挟持片     |    |
| 1 1 a   | 把手部     |    |
| 1 3     | 板バネ     |    |
| 2 2     | 把手      | 50 |

- 2 3 上下係止片
- 2 3 a 両端係止部
- 2 3 b 丸穴
- 2 4 ナット
- 2 5 一对のナット保持枠
- 2 6 穴
- 2 8 突状部
- 2 9 基板
- 3 1 歯状突起
- 3 2 中空穴
- 4 1 歯状突起

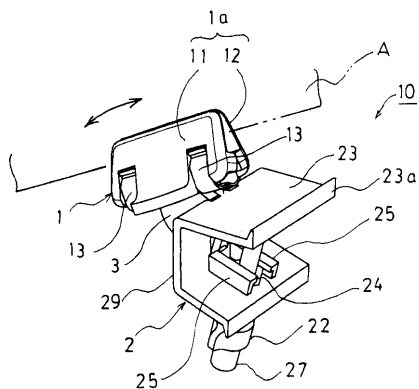
【図1】



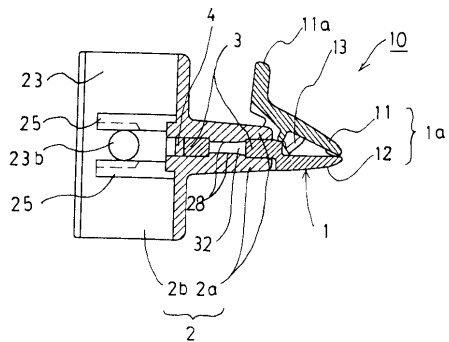
【図3】



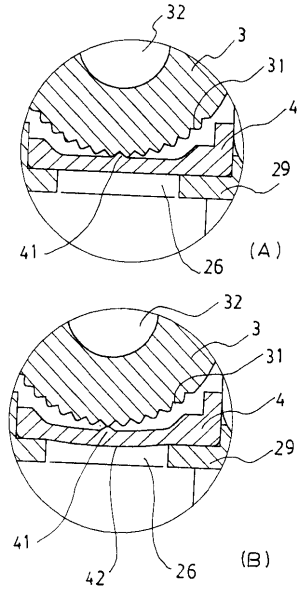
【図2】



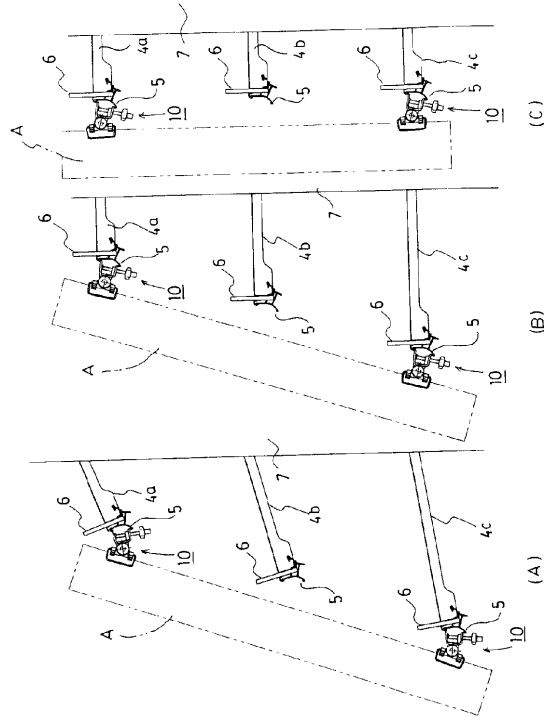
【図4】



【図5】



【図6】



---

フロントページの続き

(56)参考文献 特開2000-200041(JP,A)  
実開昭56-164278(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)  
A47F 5/00 - 7/30